

令和5年度 第4回 清竜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月20日（火） 14時から16時まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 田村和史、藤井信男、西田躬穂、内藤留美子、阿蔵直子、森下伸弘、出野光雄、鈴木省吾、平野尚美、野口めぐみ
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 野中崇（校長）、嶋田喜守（教頭）、鈴木政晴（CS担当）、湯澤亜湖（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）
- 7 傍聴人 なし
- 8 協議事項
 - (1) 清竜中学校教育課程学校関係者評価について
 - (2) 令和6年度清竜中学校運営方針について
 - (3) 防災教育について
 - (4) 学校運営協議会の自己評価について
 - (5) 夢育やらまいか事業報告
- 9 会議録作成者 CSディレクター 湯澤亜湖
- 10 議長の選出
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、藤井委員より森下委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 会議記録
議長から委員総数10人の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 清竜中学校教育課程学校関係者評価について

議長の指示により教務から別紙資料に基づき、清竜中学校教育課程学校関係者評価についての説明があった。

委員からは以下の発言があった。

- ・昨年度改善を提案した質問事項について文言の変更がされており、協議会の意義を感じた。（藤井委員）
- ・読書について。学校からもう少し積極的に推進してほしい。（出野委員）
- ・年度末に表彰を行ったり、定期的に図書便りを発行するなどして読書活動を推進している。（教務）
- ・生徒アンケート（学習）について。自己評価が低い傾向が見られるが目標を掴みかかっている状態なのではないか。（田村委員）
- ・生徒アンケート（生活）「やりたい・やってみたいことに取り組んでいるか」について。生徒たちが具体的にどのようなことを考え、何をやりたいと思っているのか詳しい実態が分からない。文化発表会等で垣間見える部分もあり、地域住民の知る機会がもっとあってもいいのかもしれない。

（田村委員）

- ・福祉教育について。生徒のボランティア活動に関してはどのように募集しているのか。(田村委員)
- ・ボランティア募集のちらし等で周知、紹介をし、必要があれば学校が仲介をしている。ふれあい祭りや図書館等。(教務)
- ・改善策により1年生の宿題の提出率が上がったようだが具体的に何を行ったのか。(平野委員)
- ・中学校入学前に春休みの自主課題を配布して、学習意欲を途切れさせず、やる気を育てられるように取り組んでいる。宿題回収後には教員がしっかりと内容を確認して返却するようにしている。また、少人数での取り出し授業、学習サポート専任の教員がいるため学習意欲の維持に繋がっている。(教務)
- ・家庭学習の予習、復習について生徒はどのように理解しているのか。(西田委員)
- ・4月の初回授業時に全教科とも予習、復習について具体的に説明をしている。(教務)
- ・各行事や活動について生徒の感想はどのように聞き取っているのか。(田村委員)
- ・各行事や活動後にアンケートを行っている。教員は活動後に話し合い、反省等を行っている。(教務)
- ・生徒アンケート(生活)について。昨年よりも今年の方が挨拶の声が大きくなっている実感がある。(森下委員)

(2) 令和6年度清竜中学校運営方針について

議長の指示により、校長より別紙資料に基づき令和6年度清竜中学校運営方針について説明があった。

委員からは以下の発言があった。

- ・研究発表会、創立20周年記念、同窓会について協議会が協力できることはあるか。(藤井委員)
- ・PTA中心に進めるつもりでいるが、意見や協力をお願いするかもしれない。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 防災教育について

議長の指示により、教頭より別紙資料に基づき防災教育について説明があった。また、代表生徒2名も熟議に参加した。

グループごとに話し合い、以下の発言があった。

- ・安否確認方法を家族で話し合うことが必要。
- ・応急手当、炊き出しの方法を学んでほしい。
- ・備蓄品の保管場所を生徒が知らない。
- ・中学校が使用できない状況も考えられるため、他に安全な場所を確認しておくことが必要。
- ・消防士から防災について学ぶ機会があっても良い。
- ・避難場所で生徒に何ができるのか考えていく。

(4) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、藤井委員より別紙資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があった。

委員からは以下の発言があった。

- ・評価項目3の「十分な情報発信」についてどのように行うのか。

(藤井委員)

- ・他の学校ではCS便りを発行している例もある。(野口委員)

・清竜中学校では学校便りにて協議会活動の発信、報告を行っている。また、学校ホームページ上にて議事録等も閲覧できるようになっている。改めて学校便りにて発信、周知できるようにする。(教頭)

(5) 夢育やらまいか事業報告

議長の指示により、教頭より別紙資料に基づき夢育やらまいか事業報告について説明があった。

部活動の結果を称揚する横断幕の掲示場所について、浜松市の条例により来年度再度検討が必要になるため、次期の課題とする旨の報告があった。協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・司会から次回会議は、令和6年5月24日(金)14時から多目的室で開催する旨の報告があった。

以上